

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 11 月 11 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473600371		
法人名	社会福祉法人 三篠会		
事業所名	グループホーム甲田		
所在地	広島県安芸高田市甲田町下小原3363番地 (電話) 0826-45-7777		
自己評価作成日	令和7年7月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人福祉キャリアセンター
所在地	広島市中区吉島東一丁目22番2号
訪問調査日	令和7年 11月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりがその人らしさを活かすことができ、その思いに添えるよう、ご利用者やご家族の希望をお聞きし、支援している。落ち着いた楽しい生活が送れるよう、丁寧なケアを心掛け、ユマニチュードの実践と個別ケアの充実を目標とし取り組んでいる。また、運営推進会議や地域行事への参加を通し、地域の中のグループホームとして繋がりを持ち続けている。裏の畑では、季節に合った野菜を栽培し、旬の野菜で季節を感じていただいている。一緒にできる方には、畑の作業や収穫した野菜での調理などを手伝っていただきながら、入所しても自宅での生活の延長として機能維持に繋げている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自然に囲まれた広い敷地内に同法人の特別養護老人ホーム、ケアハウスが併設され短期入所や通所介護、在宅支援センター、居宅介護支援事業所のサービスも提供されている。事業所間の連携、協力は基より、厨房や車両など設備の共用もあり、総合的な福祉サービスが可能となっている。利用者を理解したい寄り添いたいと思う気持ちからユマニチュードを活用し、「その人らしさ」を大切にする介護を心がけている。またノーリフティングケア「持ち上げない」「抱え上げない」「引きずらない」等のケアを実践し、必要な道具も積極的に取り入れている。利用者の為だけでなく職員の身体の負担軽減も考慮し、働きやすい職場になっている。利用者や職員は近隣の方が多く、顔見知りで親しみやすい関係も出来ており、信頼のある地域の拠点となっている。

自己評価	外部評価	項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、報喜目標に基づき利用者の処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。ミーティングや申し送りなどで定期的に確認するようになっている。	法人理念を事業所の理念とし、ユマニチュードの実践を固めている。職員それぞれで毎年の目標を立て、管理者と面談し定期的に検証を行っている。申し送りやミーティングなどで見直しやアドバイスを行い、目標の達成に繋げている。		
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	今年も春に施設主体のさくら祭りが開催できたので、地域の方が施設に来られる機会が作れた。また、今年も地域の夏祭りに参加する予定にしておき、繋がりを持っている。地域にある施設としてボランティアの受け入れなども行っている。	介護教室や福祉用具の使い方講習、自治体から委託された元気教室等、長年に渡り積極的に地域交流を行い、自治体や地元住民からの厚い信頼がある。今年も地域での桜祭りや夏祭りが悪天候で中止となった為、秋祭りを企画している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症対応型施設として、家族介護者教室などに参加し認知症について知っていただく機会を設けている。			
4		○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実態、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年4回開催している。日頃の様子や新しい取り組みを発信していく場として活用している。	利用者家族が参加しやすいように行事と合わせて開催している。技能実習生をより親しんで頂こうと母国ベトナムの紹介を実習生本人が行い、参加者家族の理解を深めていた。参加できなかった家族には日頃の様子や事故報告、改善点を書面で郵送している。		
5		○市町との連携 市町担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議や書面での報告にて事業所の実績やサービスの取り組み等、定期的に情報交換を行い、連携や質の向上に努めている。	運営推進会議や介護教室、元気教室等の実績は主に書面で報告を行い、自治体担当者とは情報交換が盛んで良好な関係が築けている。直近では地元の病院で行われる「口腔ケア講習」の案内があり、職員が参加する予定がある。		

自己評価	外部評価	外部評価			
		自己評価	外部評価		
6	5	<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>実施状況</p> <p>定期的な身体拘束委員会や研修を行っている。職員は身体拘束に関する知識が高く、利用者は施設内で自由な移動が出来る。人感センサーを利用し所在把握に努め、職員同志が声を掛け合いながら見守りを行っている。</p>	<p>実施状況</p> <p>職員は法定研修を毎年受けている。玄関は夜間帯などの見守りが手薄になる時間帯以外は施設しないこととし、人感センサーなどで所在を確認している。自由に行動していただきながら、安全に暮らせるよう考えている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援を行っている。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。また、必要な場合には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明・納得の上、同意を得ている。また、サービスの内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場で説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を活用し、意見をいただいている。また、意見や要望が聞ける時間は面会時などにも積極的に近況報告をし、話しやすい関係作りにも努めている。</p>	<p>職員は面会時や運営推進会議等で積極的に家族に声を掛け、近況報告を行っている。インスタグラムを開設しフェイスブックとも連動している。作品作りや体操等の日の様子を公開し、遠方の家族や関係施設からも好評を得ている。</p>	

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
			次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>実施状況</p> <p>職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時、対応している。</p> <p>管理者は定期的に面談し意見や要望を聞いている。職員は利用者本位のサービスを提供する意識が強く、常に活発な意見交換が行われ、潤滑な運営が出来ている。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、ノーリフティングケアや新しい給与制度の導入など職員が働きやすい環境を目指している。</p>
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実態と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人ひとりの能力を把握し、スキルアップできるように、法人内外への研修参加の機会を設けている。新人職員についてはOJTによる育成を行っている。</p>
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。</p>
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている。</p>	<p>利用開始前に本人と家族、職員を含めた事前面談を行い、要望や不安な点を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲み取り納得しているだけけるよう心掛けていく。</p>

自己評価	外部評価	外部評価	
		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		自己評価 実施状況	
16		<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会は特に制限を行っていない。普馴染みの通所利用者が面会に来られる事もある。施設行事も外部の参加を呼びかける等、積極的な交流支援がある。地元周辺のドライブや外食、買い物等、個々の希望に沿った支援を行っている。</p>

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価 実施状況	外部評価 実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>声のかけ方や大きさ、目線の合わせ方、非言語的コミュニケーション等、ユマニチュードのケア技法を実践している。本人の思いや希望、意向の把握に努め、常に寄り添う姿勢で接している。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
		項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>実施状況</p> <p>利用者ごとに担当職員を決めている。サービス状況を毎日記録し、定期的にモニタリングを行っている。ミーティング等で職員同士の情報を共有し、状況に応じた適切な支援内容の計画作成を行っている。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに抱かれなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>実施状況</p> <p>職員の意見や、気づきを日々記録し、本人・家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。ミーティング等を活用し、職員それぞれその気づきを共有し計画に活かしている。</p> <p>毎日個々の生活状況を記録している。ケアプランに則したチェック項目を設け、プランの実践の確認をしている。</p> <p>地域行事に参加したり、地域の方との交流会を持ち、利用者が生き生きと暮らせる支援をしている。ユニットごとで、より個別化したケアにも取り組んでいる。</p> <p>かかりつけ医との連携だけでなく、地域の中での暮らしを継続できるよう、情報収集している。</p> <p>入居前からのかかりつけ医への受診は家族や職員の付き添いのもとに行っている。同一敷地内の施設からの協力医の往診が定期的であり、夜間はオンコール体制が整っている。受診時の結果は日頃の様子を添えて、家族に郵送で報告している。</p>

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の状態を確認し、相談や報告をしている。服薬や日々の健康管理に気を配り、連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるよるうに、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>随時、病院関係者と連携を行っている。利用者が入院した時は認知症のBPSDIについて担当看護師に細かく伝達するよう努めている。退院調整や退院前のカンファレンスなどは相談員を中心に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医の指示のもと、本人・家族・職員とで話し合いを行って。また、併設の特養への移籍のタイミングも含め、事前に意向を伺う機会を設けている。サービスが継続することで安心して暮らしていただけるよう取り組んでいる。</p>	<p>要望があれば看取りの対応が可能である。家族の宿泊にも応じている。重度化した際には、主治医や本人、家族、職員とともに意向を話し合い、併設の施設へ移る等、継続した支援体制を整えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けを行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回防災訓練を実施している。コロナ以前は毎年地域の自主防災訓練にも参加していたが、コロナ以降は施設内での訓練のみとなっている。今年も火災時と水害時の訓練を行う。</p>	<p>年2回、火災と水害を想定しての避難訓練を交互に行っている。緊急時に車いすの必要な利用者には、居室の入口に車いすマークを掲示し、室内に常備している。同一敷地内の施設と共有した食料品や日用品の充分な備蓄があり、定期的に使用しながら常に新しい物品を整えている。</p>	<p>コロナにより中断されていた地域住民も参加しての避難訓練が検討中であり、今後の再開を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないよう配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。	インスタグラムに投稿の際も家族の了承を得て、それぞれの意向に応じた掲載方法を取り、プライバシーの配慮常に心がけている。入浴や排泄の際の扉の開閉にも配慮を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が自ら行動し、意思決定できるよう支援を心掛けている。 難しい利用者についても、分かりやすいことばで働きかけるようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している。	共同生活の中で最低限の決まりはあるが、強制ではなく選択制や、一人ひとりのペースに合わせた暮らしができるよう、その人らしい生活の支援に努めている。			
39		○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしやれをできるだけ自分で選んでいただく、決めていただくことを大切に、支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては利用者に栄養士が嗜好調査を行っている。 食事の配膳や後片付けをお手伝いいただくことで関わりを持っている。その他、利用者の咀嚼や嚥下状態に合わせて、食事形態を見直し、安全においしく食べられるよう配慮している。	併設の施設と合同で調理されたものが提供され、各ユニットで炊飯のみ行っている。敷地内の畑で育てた野菜を使用しての献立が並ぶこともあり、利用者の楽しみと直している。月1回のおやつレクも季節に応じたメニューを職員が提案し、運営推進会議と合わせて行うこともあり、利用者や家族に喜ばれている。		

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
41		<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食事形態は個人に合ったものを提供する。栄養面だけでなく食事量の確保にも繋がっている。水分もこまめに提供することで水分を十分に取り、脱水の予防に努めている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況はその都度タブレットに入力されており、一人一人の適切な声かけのタイミングや介助方法が把握できると等、総合的な管理が行われている。夜間のみポータブルトイレを使用する等、個々に応じた対応を行っている。業者が開催する研修も事業所で行っており、コスト削減の工夫に努めている。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の入浴日を設け、主に午前中に入浴しているが、利用者の希望や体調に合わせて柔軟に対応している。個別に対応した職員の声かけにより、拒否の強かった利用者が入浴に成功した事例がある。袖子や真摺など家族からの差し入れもあり、入浴を楽しむ工夫を行っている。浴室の窓が広く、敷地内の庭が見え季節感が感じられる。</p>

自己評価	外部評価	外部評価	
		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>利用者の生活リズムをある程度把握し、尊重している。散歩や体操の日の活動で心地よい疲労感を感じていただけるよう配慮している。</p>
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>個人のファイルに薬の情報をまとめ、職員全員が目を通すことで意識を高め、服薬に対する認識をきちんと持つよう努めている。状態に応じて職員間で話し合い、必要時は医師・看護師に指示を仰いでいる。</p>
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>一人ひとりの能力や今までの生活歴等を参考にしながら、役割を見つけ楽しみながら生活できるよう支援している。</p>
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>ドライブや買い物、外食など、外出行事が多い。希望に沿った外出支援が随時個別で行われている。敷地も広く、日常的に施設の周りの散歩が行われている。季節の移ろいも感じられるよう外出に努めている。地域行事の参加も積極的に取り組まれており、近隣との繋がりが継続できている。</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>本人や家族の希望に沿えるよう、あまり高額にならない範囲での支援を行っている。</p>

自己評価	外部評価	外部評価			
		自己評価	実施状況		
51		<p>項目(A ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人や家族の希望に合わせて、支援している。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとつて不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間は1日に1～2回活動できる利用者と共に清掃し、換気を行い清潔を保つようにしている。ホールには行事の写真や、制作活動の作品を飾るなどしている。フロアの設置や、空調・証明の調整で利用者の安らげる場所作りを心掛けている。</p>	<p>中央のフロアは吹き抜けで深光が良く、明るい空間になっている。トイレや風呂場、各居室の出入口等が良く見渡せる為、移動の安全が確保されやすい。フロアの壁面には、職員と利用者で製作した作品が常時飾られている。訪問時には、敷地内の散歩の際に摘んだ草花を利用した季節感のある作品が飾られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設けている。ホール内は自由に活動できるようにし、利用者同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。トラブル等があれば、配置を変えるなどで気分転換を図っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、自宅で使用されていた馴染みの物を持ち込んでいただき、本人が安心して過ごせる居心地の良い部屋となるよう、工夫・協力している。</p>	<p>居室にはクローゼットが備え付けられており、日当たりもよく静かで快適な空間となっている。家族から贈られた観葉植物を飾る等、利用者の好みに応じた居室作りを行っている。鉢の管理も利用者とともにに行い、育てた植物の枝を職員に切り分けた事例もある。入居後も安心して過ごせるよう自宅に近い環境を整える工夫を心がけている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で共有し、「できること」の継続や「分かるように」することできるように「なる」を目指す、サービス向上に努めている。</p>		

V アウトカム項目 (A棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 ○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている ○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている ○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている ○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていない ○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②教日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	外部評価	
			自己評価 実施状況	実施状況 次のステップに向けて 期待したい内容
I 理念に基づく運営				
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>事業所の理念、報償目標に基づき利用者の処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。ミーティングや申し送りなどで定期的に確認するようになっている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>今年も春に施設主体のさくら祭りが開催できたので、地域の方が施設に来られる機会が作れた。また、今年も地域の夏祭りに参加する予定にしており、繋がりを持っている。地域にある施設としてボランティアの受け入れなども行っている。</p>	
3	3	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>認知症対応型施設として、家族介護者教室などに参加し認知症について知っていただく機会を設けている。</p>	
4	4	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>年4回開催している。日頃の様子や新しい取り組みを発信していく場として活用している。</p>	
5	5	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えるながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>行政担当者とは運営推進会議や書面での報告にて事業所の実績やサービスの取り組み等、定期的に情報交換を行い、連携や質の向上に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()内へユニット名を記入願います B ユニット)	外部評価	
			自己評価	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>実施状況</p> <p>職員は法定研修を毎年受けている。身体拘束は行っていない。玄関は夜間帯などの見守りが手薄になる時間帯以外は施錠しないこととし、人感センサーなどで所在を確認している。自由に行動していたとしても、安全に暮らせるよう考えている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的な施設内で法定研修が開催されることで、普段から職員が虐待について勉強し、個々の知識を高め、利用者が安心して生活できるよう心掛けている。</p>	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。また、必要な場合には支援できる体制にある。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明・納得の上、同意を得ている。また、サービスの内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場でも説明を行っている。</p>	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を活用し、意見をいただいている。また、意見や要望が聞ける時間は面会時などにも積極的に近況報告をし、話しやすい関係作りに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時、対応している。</p>			
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、ノーリフティングケアや新しい給与制度の導入など職員が働きやすい環境を目指している。</p>			
13		<p>○職員を育てる仕組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人ひとりの能力を把握し、スキルアップできるように、法人内外への研修参加の機会を設けている。新人職員についてはOJTによる育成を行っている。</p>			
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。</p>			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている。</p>	<p>利用開始前に本人と家族、職員を含めた事前面談を行い、要望や不安な点を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲み取り納得していただけるよう心掛けていく。</p>			

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価 実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用開始前の事前面接で、本人・家族と話し合いの場を設けることで、不安が取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き、思いを知る努力をしている。</p> <p>専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に添えるよう努力している。</p> <p>毎日の生活において、本人の生活歴を通して個人個人に合った役割や得意な分野を算出することでそれぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。</p> <p>運営推進会議や家族会を開催することで、施設での様子を知っていただく機会になっている。また、体調不良時などは電話で連絡し共有することで、共に利用者を支えていけるような関係を作っている。</p> <p>地域の行事への参加や、施設行事への外部からの参加を呼び掛けるなど、馴染みのある方との交流を支援している。</p> <p>地域での買い物や外食、自宅周辺のドライブなども行っている。</p>

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
		項目()内へユニット名を記入願います	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	
		<p>○思いや意向の把握</p> <p>ユマニチュードの学びの中で、その人の生活背景を大切にすることから、コミュニケーションを図り、本人に合った生活環境が提供できるようにしている。</p>	
		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>本人や家族との面談を通して、これまでの生活やサービス利用歴を把握している。しかし、核家族化によって連絡が取りづらくなり、キーパーソンでも利用者のこれまでの経過を知らない等の現状もあり、情報不足の点もある。</p>	
		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>9名ずつのユニットに分かれて活動することで、少人数を対象にした細やかなケアに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
		項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われないう、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>利用者の状態を確認し、相談や報告をしている。服薬や日々の健康管理に気を配り、連携を図っている。</p>
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>随時、病院関係者と連携を行っている。利用者が入院した時は認知症のBPSDについて担当看護師に細かく伝達するよう努めている。退院調整や退院前のカンファレンスなどは相談員を中心に行っている。</p>
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>主治医の指示のもと、本人・家族・職員と話し合いを行っている。また、併設の特養への移籍のタイミングも含め、事前に意向を伺う機会を設けている。サービスが継続することで安心して暮らしていただけるよう取り組んでいる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。また、救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けを行っている。</p>
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けてるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p> <p>年2回防災訓練を実施している。コロナ以前は毎年地域の自主防災訓練にも参加していたが、コロナ以降は施設内での訓練のみとなっている。今年も火災時と水害時の訓練を行う。</p>

自己評価	外部評価	項目()内へユニット名を記入願います 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います B ユニット)	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して扱われることがないよう配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が自ら行動し、意思決定できるような支援を心掛けています。 難しい利用者についても、分かりやすいことばで働きかけるようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	共同生活の中で最低限の決まりはあるが、強制ではなく選択制や、一人ひとりのペースに合わせた暮らしができるよう、その人らしい生活の支援に努めている。			
39		○身だしなみやおしゃやれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃやれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃやれをできるだけ自分で選んでいただく、決めていただくことを大切に、支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては利用者に栄養士が嗜好調査を行っている。 食事の配膳や後片付けをお手伝いいただくことで関わりを持っている。その他、利用者の咀嚼や嚥下状態に合わせて、食事形態を見直し、安全においしく食べられるよう配慮している。			

自己評価	外部評価	外部評価	
		自己評価	実施状況
41		<p>項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食事形態は個人に合ったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保にも繋がっている。水分もこまめに提供することで水分を十分に取り、脱水の予防に努めている。</p>	<p>実施状況</p> <p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	外部評価	
		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>項目()内へユニット名を記入願います</p> <p>項目(B ユニット)</p> <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活リズムやその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>実施状況</p>
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者の生活リズムをある程度把握し、尊重している。散歩や体操の日の活動で心地よい疲労感を感じていただけよう配慮している。</p>
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個人のファイルに薬の情報をまとめ、職員全員が目を通すことで意識を高め、服薬に対する認識をきちんと持つよう努めている。状態に応じて職員間で話し合い、必要時は医師・看護師に指示を仰いでいる。</p>
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のの人々と協力しながら出かけられるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの能力や今までの生活歴等を参考にしながら、役割を見つけて楽しみながら生活できるよう支援している。</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>地域の行事に参加する際は、ボランティアを呼び掛けるなど、地域の中の事業所として理解をいただき、交流の場となっている。ご家族にも外出や受診で協力いただいている。</p>

自己評価	外部評価	外部評価		
		自己評価	実施状況	
51		<p>項目(B ユニット) 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います</p> <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>実施状況</p> <p>本人や家族の希望に合わせて、支援している。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとっても不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間は1日に1~2回活動できる利用者と共に清掃し、換気を行い清潔を保つようにしている。ホールには行事の写真や、制作活動の作品を飾るなどしている。ソファの設置や、空調・証明の調整で利用者の安らげる場所作りを心掛けている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設けている。ホール内は自由に活動できるようにし、利用者同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。トラブル等があれば、配置を変えるなどで気分転換を図っている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、自宅で使用されていた馴染みの物を持ち込んでいただき、本人が安心して過ごせる居心地の良い部屋となるよう、工夫・協力している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で共有し、「できること」の継続や「分かるようにすること」でできるようなことを目指し、サービス向上に努めている。</p>	

V アウトカム項目(B 棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

評価調査員が作成した報告書について下記へご記入の上、メールにて返信をお願いいたします。

報告書について、ご意見や訂正等は

無

(いずれかにチェックをお願いいたします)

有

ご意見・訂正箇所等下記へご記入をお願いいたします。

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム甲田

作成日 令和 7年 12月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	コロナによって中断されている、地域住民も参加しての避難訓練が再開できていない。	再開できるように調整していく	研修委員会で再開に向けた検討を行う	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

